

3学年だより

NO 580

飛翔

令和3年1月28日



小田原市立城山中学校
学年主任 水野喜代治

感謝

非常事態宣言が出されているので、学校では、密を避けるために掃除をやっていません。学年の廊下や各教室は、学年の先生方が放課後の時間に掃除をしています。トイレは、汚れやすいので、毎日掃除をする必要があります。トイレの掃除は、業者の人をお願いしています。このように、自分達で掃除ができない事態になっているので、色々な人の力を借りて、教育環境を維持しています。生徒の皆さんは、そのようなことを感じながら、生活してほしいと思います。

城山中学校の3年の昇降口はカーペットが敷いてあります。当然、上履きを脱いで、カーペットの上を歩きます。歴代の3年生は、上履きを脱いで、昇降口を利用してきたので、何十年とたったカーペットですが綺麗な状態に保たれています。また、掃除当番が掃除機を使って、掃除をしているので、ほこりもなく、本当にきれいな状態で、学校に見えたお客さんも「きれいですね」と言葉をかけてくれることもあります。

昨日、昼休みが終わって、昇降口の先にある印刷室に行こうとしたら、カーペットの上に、靴跡がついていました。上履きで歩いたというよりも下履きでカーペットの上を歩いたと思われるほど汚れた状態になっていました。休み時間に昇降口を利用した生徒の誰かが土足のまま歩いたということになります。昇降口は、本来、3年1組の生徒が清掃分担場所になっていて、昇降口の管理をしています。掃除は活動停止になっていますが、それぞれの清掃場所は、各掃除当番が管理しています。廊下にゴミが落ちていたら、まずは、ゴミを廊下に落とした人のマナーの低さが問題ですが、気がついた人が拾って、環境を整えましょう。また、廊下の当番の人は、清掃活動が無くても、清掃場所が常にきれいになっているか気を配りましょう。

昇降口の靴跡は、1組の清掃当番に掃除してもらいました。教室、廊下、昇降口、トイレなどが、清掃活動が中止されているのに、いつもきれいなのは、みんなが下校した後にだれかが清掃をしてくれているからです。このように、支えていただいていることを意識することが出来ると良いと思います。ちなみに、昇降口は毎日、用務員の先生が掃除してくれています。用務員の先生に、感謝の気持ちをもって、「おはようございます。」と挨拶しましょう。